

小樽運河プラザ

- 物件名：小樽運河プラザ（ホール）
- 住所：色内2-1-20
- 電話：33-1661
- 所有者：小樽市
- 運営：一般社団法人 小樽観光協会
- 人員：7人
- 建物履歴：

明治23～27 小樽倉庫建設（西出孫左衛門・西谷庄八）
 明治38年 小樽倉庫を山本久右衛門に譲渡
 昭和58年 小樽市に譲渡 喫茶店小樽倶楽部開店
 昭和60年 小樽市博物館開設 小樽市歴史的建造物指定
 平成2年 小樽運河プラザ開設 小樽観光協会事務所移転設置
 平成3年 小樽市歴史的建造物指定
 平成19年 小樽市博物館は小樽市総合博物館運河館に改称
 平成26年 瓦屋根全面葺替約6万枚

※小樽倉庫

明治23～27 小樽倉庫建設（西出孫左衛門・西谷庄八）
 明治38年 小樽倉庫株式会社登記 代表取締役山本久右衛門
 大正13年 代表取締役山本厚三
 昭和25年 代表取締役山本信爾
 昭和58年 代表取締役山本信彦 小樽市に譲渡 社屋移転

■外観

- ①6尾の鯨／建設時の明治中期は前面は海（船入澗）だった。北前船主であった西出と西谷は自船の荷だけではなく他船の荷も保管する、新たなビジネスモデルとしての倉庫業を発案し、倉庫のランドマークとして、権威の印であった鯨を掲げた。
- ②左右対称／木骨石造に囲まれた煉瓦造の事務所棟が配置する左右対称の雄大で美しい倉庫。小樽を代表する石造倉庫。
- ③前庭／中央通り沿いに前庭を配し、イベントや待ち合わせ場所として活用。

■内観

- ①中庭・他船の荷は企業秘密に属するため、倉庫前で荷ほどきをせず、倉庫の壁に囲まれて見られないように中庭を設計。
- ②それぞれの仕様整備／喫茶、売店、観光案内、休憩などの各仕様のため、空調、トイレ、開口部を設置。
- ③床／平成23年に床のリ・サーフェイス工事完了。

■内容

小樽にとって貴重な建物として小樽市が昭和58年購入。北棟は小樽市博物館が昭和60年より使用。南棟は平成2年業務委託として、平成18年指定管理者として小樽観光協会が建物を運営。

■観光案内

国際インフォメーションセンターに外国語通訳2名とパート職員1名を配置しているほか、繁忙期の週末には小樽観光協会サポートガイド1～2名を配置し、小樽の観光案内の深さと幅を広げている。

■客層

市民2割、観光客8割で推移。



外観と前庭



中庭



喫茶兼休憩スペース



国際インフォメーションセンター



梁を生かした売店



独特なディスプレイ



鯨と鬼瓦